データベースマニュアル（2019.4）

TAGURU[タグル]

京都橘大学
図書館

TAGURU [タグル] とは、Google や Yahoo!のような手軽さで、
京都橘大学図書館検索：webOPAC をはじめ、契約オンラインデータベースや、電子ジャーナルといった、京都橘大学図書館で利用できるさまざまなインターネット検索情報に一括アクセスできる、検索サービスです。（ディスカバリーサービス）

この検索サービスには、インタネット上に全文公開されている論文や情報へナビゲートする機能、リンクリゾルバ（360Link）が含まれており、スピーディーな検索ができるだけでなく、図書館から提供している信頼性の高い情報にアクセスできるようになっています。

TAGURU はこんな時に使ってみよう

	TAGURU	京都橘大学図書館検索：webOPAC
【図書】 書名で検索 橘大にあるかないか	○ 雑誌論文などと混在して 表示されるため注意が必要	◎ 最も機能を発揮する
【論文】 網羅的にさがす	◎ さまざまなデータベース等を一括 検索できる機能が発揮される	× CiNii Articles で検索した後に 京都橘大学の所蔵を確認しなければならない
【論文】 特定の論文をさがす	○ 論文のタイトルが表示される	△ 掲載雑誌名や巻号が判明していれば 検索可能

ひとくちメモ

★とりあえず、「調べたいテーマ」、「探したいテーマ」に対し、どんな資料があるのか網羅的に知りたいとき便利です。
★さまざまな分野にまたがって、資料をさがしたいときに試す価値があります。

★情報量が膨大なので特定分野で資料をさがしたり、特定テーマから絞り込んで資料をさがすときには不向きかもしれません。
★京都橘大学図書館が契約しているデータベース全てが、TAGURU で検索できるわけではないので注意が必要です。

★CiNii Articles については個別に検索することをおススメします。
★TAGURU で検索をすると図書/雑誌が混ざった状態で表示される上、本学所蔵/未所属に関係なく検索結果が表示されるため、検索結果をよく確認することが必要です。

TAGURU［タグル］

●京都橘大学図書館検索：
webOPAC

■ 契約データベース/電子ジャーナル・電子ブック

本学契約データベース

- ●医中誌 WEB
- ●Medical Online
- ●医書.ｊｐ
- ●日経 BP 記事検索サービス
- ●JapanKnowledge Lib
- ●聞蔵Ⅱ（朝日新聞）
- ●Academic Search Elite (EBSCO host)
- ●ERIC (EBSCO host)
- ●Business Source Premire (EBSCO host)
- ●Regional Business News (EBSCO host)
- ●EcinLit（EBSCO host）
- ●CINAHL with Full Text (EBSCO host)
- ●MEDLINE with Full Text (EBSCO host)
- ●PsycINFO/Psyco Articles (EBSCO host)
- ●Science Direct
- ●PubMed
- ●Maruzen e-Book Linrary

フリーアクセスデータベース

- ●CiNii Articles
  （論文を全文公開している、日本の学協会が発行する学術雑誌のみ）
- ●J-STAGE
- ●JAIRO（機関リポジトリ）
- ●全国遺跡報告総覧

本学契約電子ジャーナル

- ●Wiley
- ●HightWire Press
- ●Springer LINK
- ●Mary Ann Liebert Online
- ●Oxford Jpurnals
- ●Cambridge Journals Online
- ●BioMedCentral
- ●Directory of Open Access-Journals

など、他多数あり
詳しくは、http://us8fv6bd7x.search.serialssolutions.com/ を参照

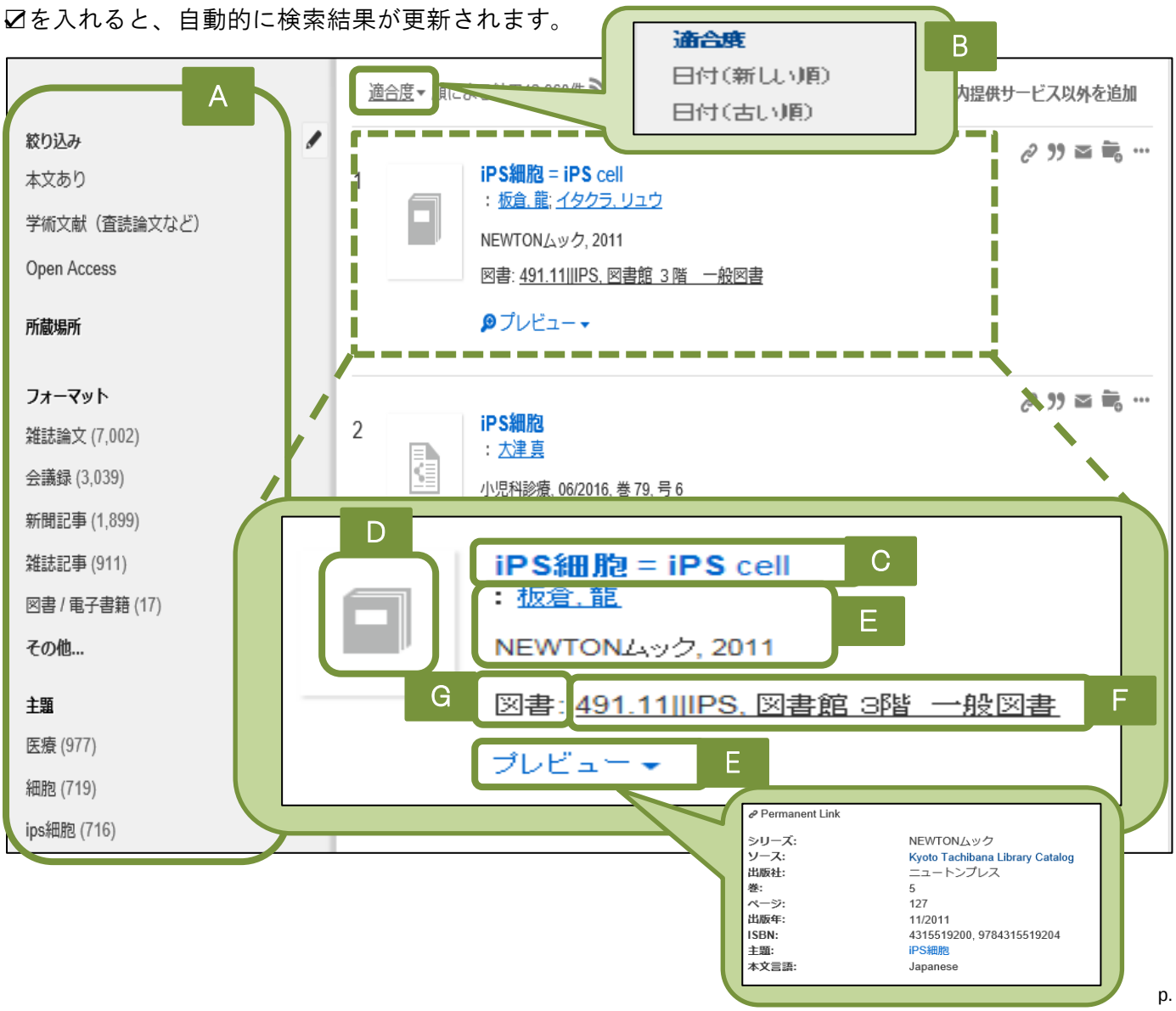
●CiNii Books　●NDL-OPAC（国立国会図書館）
●CiNii Articles（上記以外）　●毎索　●日経テレコン　●Web OYA-bunko

検索方法

① 検索ボックスに【キーワード】を入力し、検索ボタンをクリックします。

検索結果の読み方　～初級編（本学所蔵ありの図書資料）

2019.2 現在、TAGURU で【キーワード：ips 細胞】と入力してみると、13,461 件がヒットします。
件数が多すぎるので、さまざまな条件付けをして絞り込んでいく必要があります。
画面の左側にある条件（ A ）で、文献のタイプやフォーマット、主題、出版年などから絞り込んだり、
右上部の表示順を並べ替えてみましょう（ B ）。
☑を入れると、自動的に検索結果が更新されます。



C ≪資料名≫　図書資料の書名、論文タイトルなどを表示。
（クリックすると webOPAC 画面に移動）

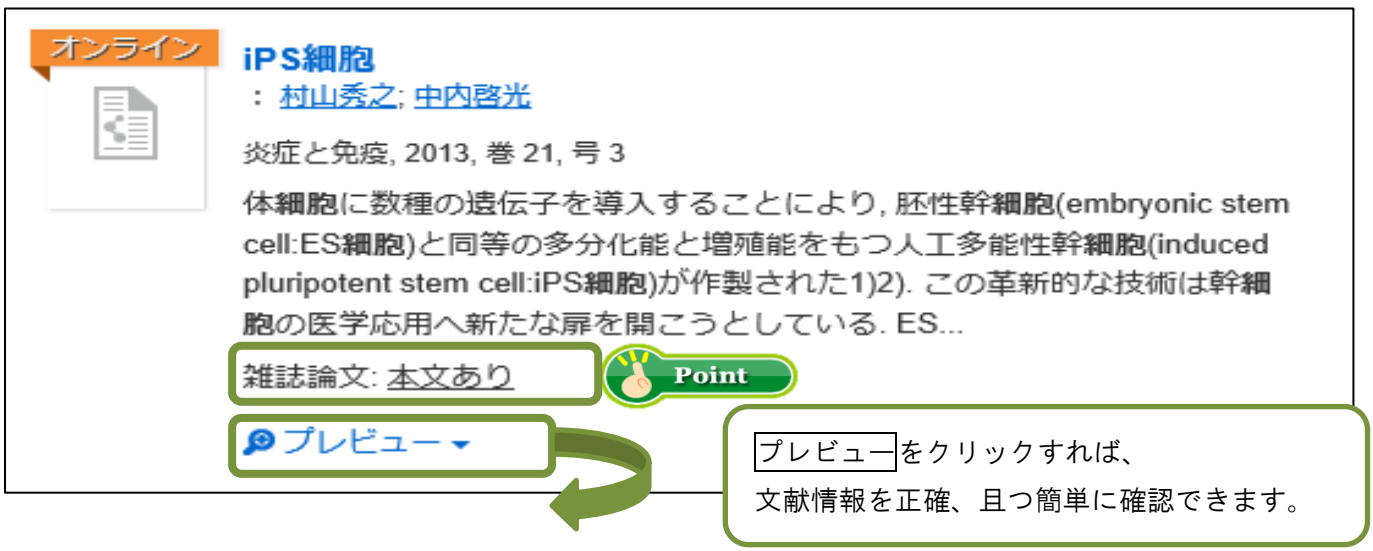
D ≪資料アイコン≫　資料の種類を示す印。

≪書誌情報≫　著者名や、シリーズタイトル、雑誌名などを表示。

E
F ≪所蔵情報≫　本学図書館の請求記号や配置場所を表示。

G ≪資料の種類≫　図書資料か、雑誌資料か、オンラインで全文公開されているかを表示。
※ D と連動

検索結果の読み方　～本文あり

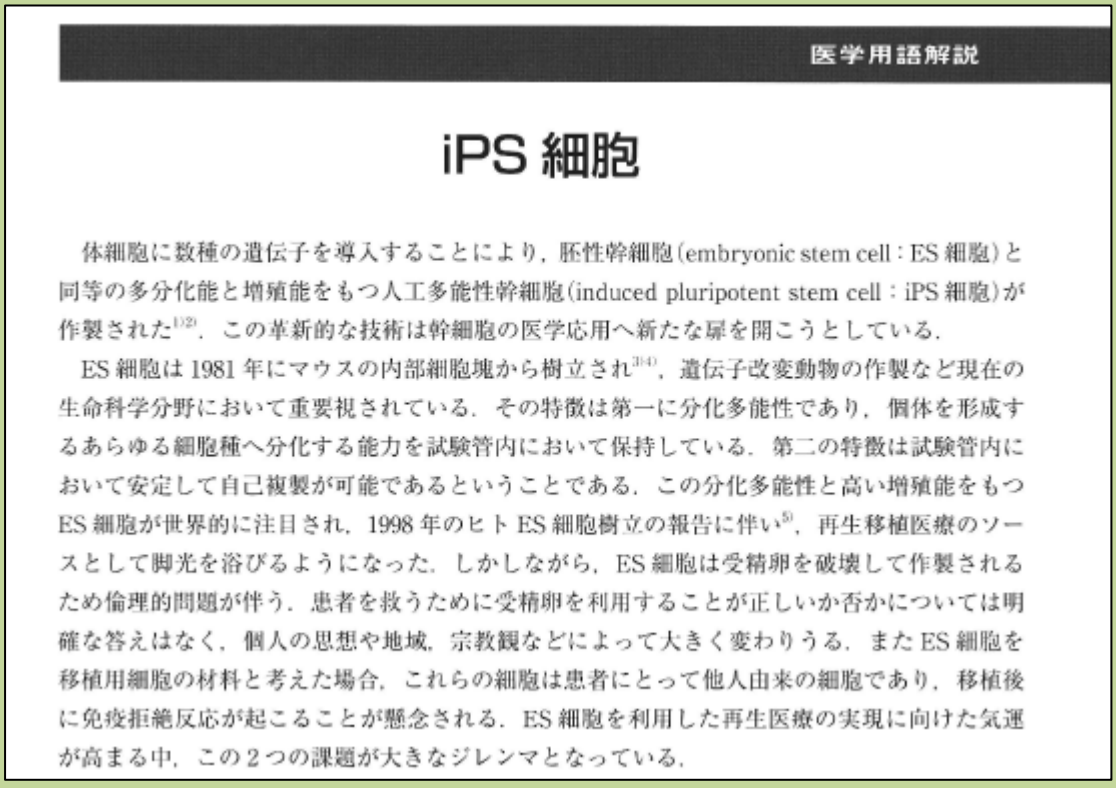


出版名:	炎症と免疫
出版社:	先端医学社
巻:	21
号:	3
ページ:	267 - 269
出版年:	2013
ISSN:	0918-8371
本文言語:	Japanese

- 資料の種類（G）・・・・・雑誌論文
- 論文タイトル（C）・・・・「ips 細胞」
- 著者名（E）・・・・・・・村山秀之；中内啓光
- 掲載雑誌タイトル（E）・・『炎症と免疫』
- ISSN（E）・・・・・・・・・0918-8371
- 論文掲載雑誌巻号（E）・・21 巻 3 号
- 論文掲載ページ（E）・・・p.267-269
- 掲載雑誌発行年月（E）・・2013 年
- 所蔵情報（E）・・・・・・本文あり

Point

★所蔵情報が「本文あり」となっているものは、論文がインターネット上に全文公開されている、ということです。　論文タイトル、もしくは本文あり をクリックしてみましょう。



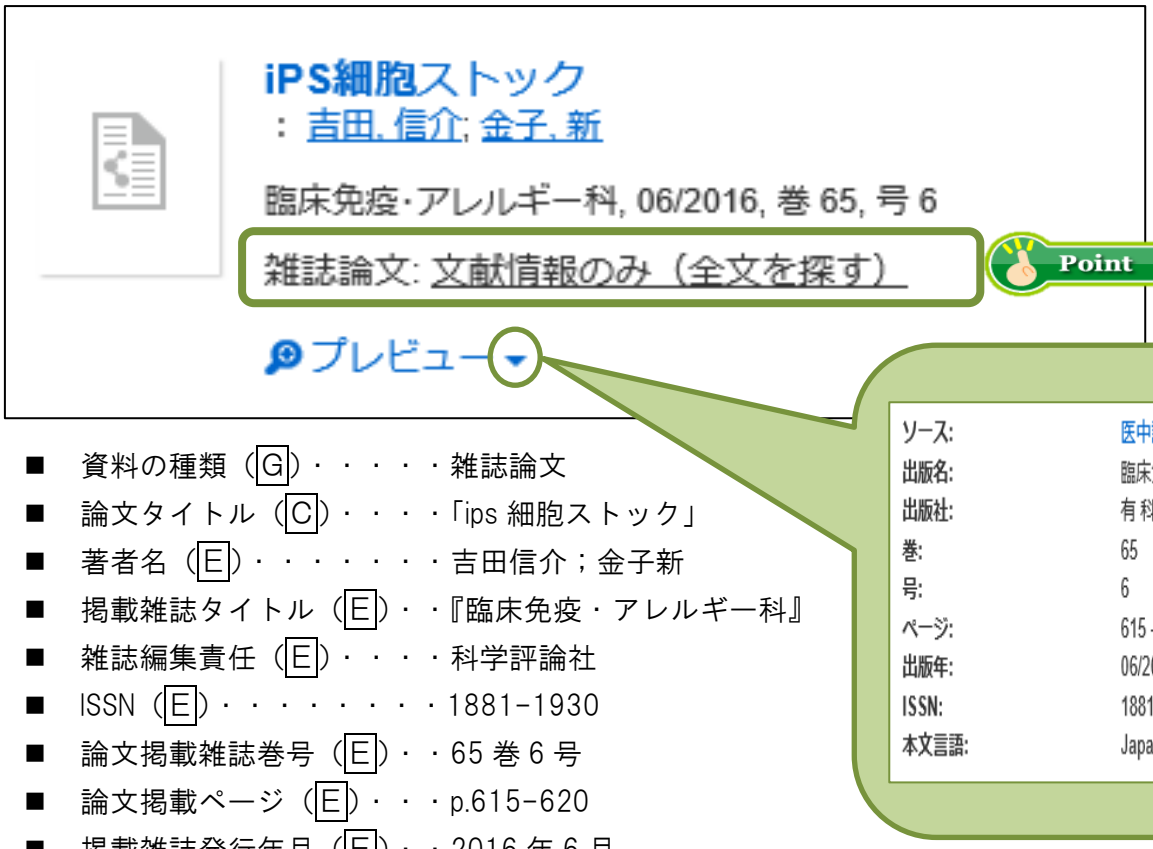
医学用語解説

iPS 細胞

体細胞に数種の遺伝子を導入することにより，胚性幹細胞（embryonic stem cell：ES 細胞）と同等の多分化能と増殖能をもつ人工多能性幹細胞（induced pluripotent stem cell：iPS 細胞）が作製された[1)2)]．この革新的な技術は幹細胞の医学応用へ新たな扉を開こうとしている．

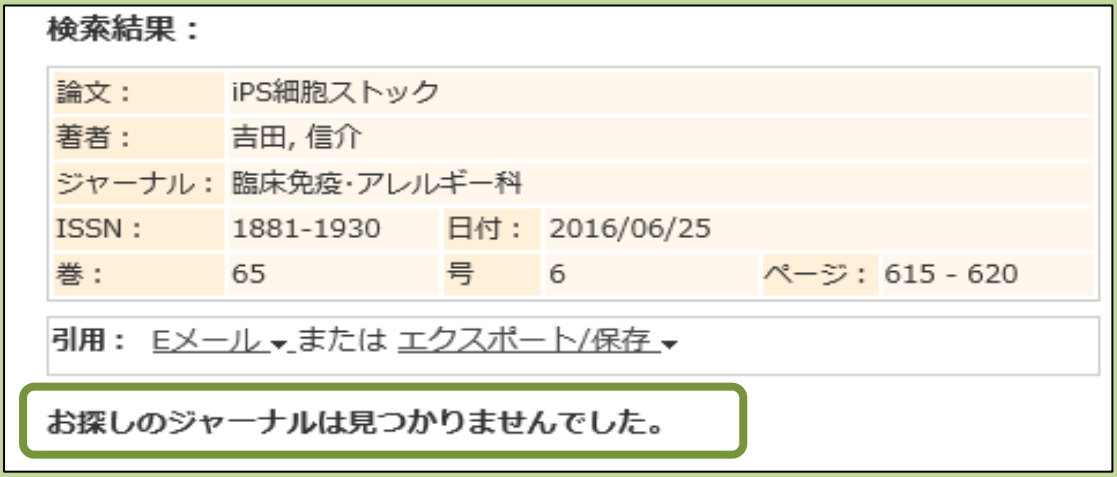
ES 細胞は 1981 年にマウスの内部細胞塊から樹立され[3)4)]，遺伝子改変動物の作製など現在の生命科学分野において重要視されている．その特徴は第一に分化多能性であり，個体を形成するあらゆる細胞種へ分化する能力を試験管内において保持している．第二の特徴は試験管内において安定して自己複製が可能であるということである．この分化多能性と高い増殖能をもつ ES 細胞が世界的に注目され，1998 年のヒト ES 細胞樹立の報告に伴い[5)]，再生移植医療のソースとして脚光を浴びるようになった．しかしながら，ES 細胞は受精卵を破壊して作製されるため倫理的問題が伴う．患者を救うために受精卵を利用することが正しいか否かについては明確な答えはなく，個人の思想や地域，宗教観などによって大きく変わりうる．また ES 細胞を移植用細胞の材料と考えた場合，これらの細胞は患者にとって他人由来の細胞であり，移植後に免疫拒絶反応が起こることが懸念される．ES 細胞を利用した再生医療の実現に向けた気運が高まる中，この 2 つの課題が大きなジレンマとなっている．

検索結果の読み方　～中級編（文献情報のみ）



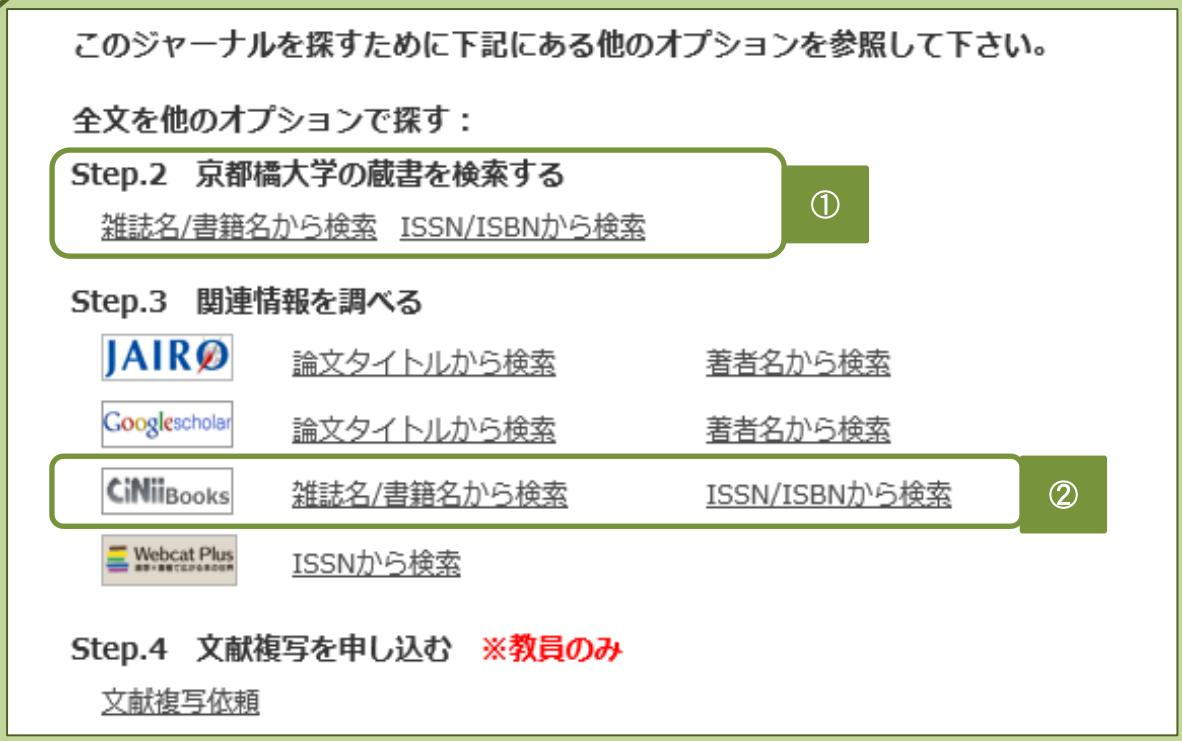
- 資料の種類（G）・・・・・雑誌論文
- 論文タイトル（C）・・・・「ips 細胞ストック」
- 著者名（E）・・・・・・・吉田信介；金子新
- 掲載雑誌タイトル（E）・・『臨床免疫・アレルギー科』
- 雑誌編集責任（E）・・・・科学評論社
- ISSN（E）・・・・・・・・1881-1930
- 論文掲載雑誌巻号（E）・・65 巻 6 号
- 論文掲載ページ（E）・・・p.615-620
- 掲載雑誌発行年月（E）・・2016 年 6 月
- 所蔵情報（F）・・・・・・文献情報のみ

Point

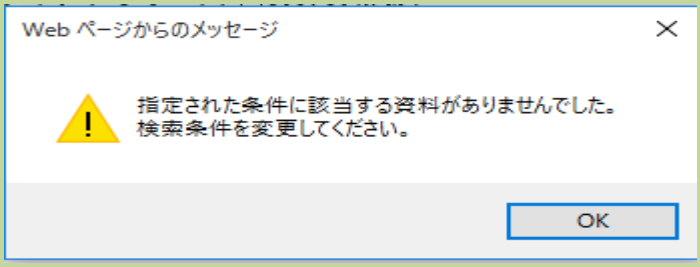


★所蔵情報が、**「文献情報のみ」**となっているもの、或いはクリックをして、
"お探しのジャーナルは見つかりませんでした。"は、資料がインターネット上に全文公開されていない、ということを表しています。

★しかしこの段階ではまだ、雑誌『臨床免疫・アレルギー科』の 65 巻 6 号が冊子体で本学が所蔵している可能性が残っています。



① 京都橘大学の蔵書を検索する-雑誌名/書籍名から検索をクリックします。
（冊子体で『臨床免疫・アレルギー科』65 巻 6 号をさがす）



② 雑誌名/書籍名から検索 or ISSN/ISBN から検索をクリック、該当雑誌を所蔵している他機関をさがします。

★①により、本学図書館が冊子体でも未所蔵であることが確認できたら、他大学機関へ ILL 相互利用ー学外文献複写依頼を申し込むことで、該当論文を入手することができます。

その他の機能　～上級編（文献情報の保存）

TAGURU で検索をした結果、たくさんの文献情報が表示されたら、"**その情報を保存できればなぁ**"、
と考えたことはありませんか。
情報を保存しておくことができれば、実際に文献を収集する際にまた、TAGURU で検索することから
始めることなく、保存しておいた情報からスタートさせることができます。
ぜひ、文献情報の保存のしかたを覚えましょう。

① 保存したい文献情報の右端にある、 ･･･ （More actions）のアイコンをクリックします。
② RefWorks を選択、クリックしてください。
RefWorks のバージョンは、左のオレンジ色のバージョンを選択してください。
③ あとは、各自のログイン名とパスワードを入力して、RefWorks へログインすれば、自動的に文献情報がインポートされます。
※RefWorks の使い方については、本学図書館レファレンスカウンターへお問い合わせください。
マニュアルも配布しています。
http://www.tachibana-u.ac.jp/library/information/pdf/refworks_guide_2018.pdf

その他の機能　～文献リストの作成

もし、TAGURU で検索した図書資料や、雑誌論文を自身のレポートや、卒業論文などで引用したり、
参考にしたりした場合は、必ずその事実を「引用文献」「参考文献」として列挙しなければなりません。
この方法なら手軽で、入力の手間を省くことができます。

① 保存したい文献情報の右手にある、 ❞ （Cite this item）のアイコンをクリックします。
② ポップアップで「引用」画面が表示されます。
リストに使用するフォーマットを選びましょう。
（どれを選んでも構いませんが、以後同様のフォーマットでリスト全体を整える必要があります。
分かりやすいのは、Oxford Style かもしれません。）
③ 最後に、Print citation ボタンをクリックします。
リスト表示されるので、コピー＆ペーストで自身のレポートや卒業論文に貼り付けできます。